

第325回 京都歩こう会コース案内

リーダー 稲原 昇

日時:2023年5月26日(金)

集合:JR東海道本線・山科駅前 10時受付終了

コース:小関越コース ★

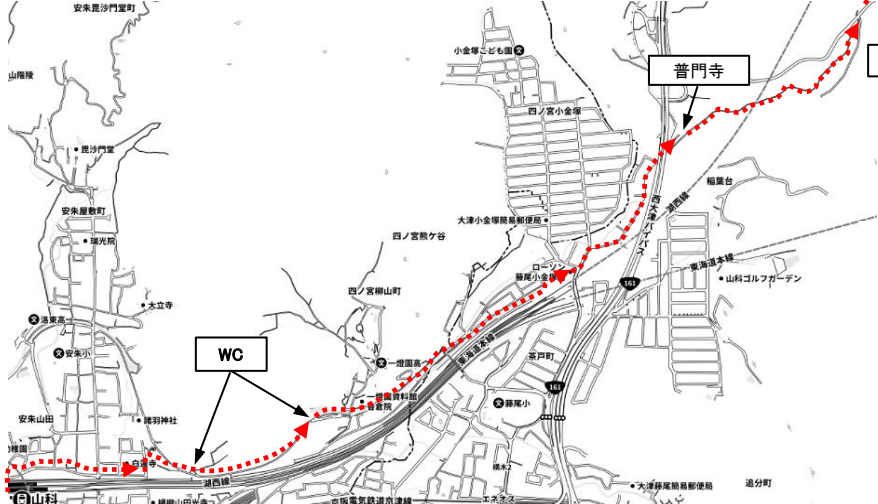
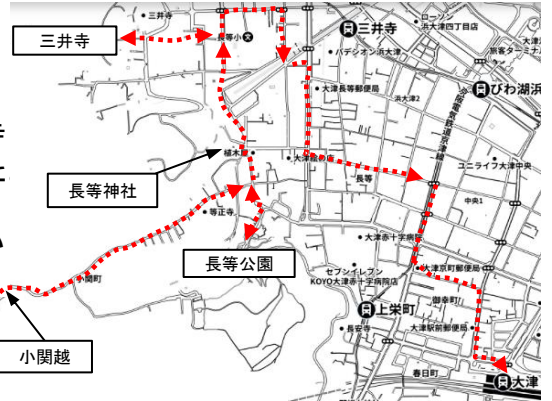
距離:7.8km

行程:JR山科駅 ⇒ 疏水沿い ⇒ 普門寺 ⇒ 小関越峠の地蔵 ⇒ 長等公園(昼食) ⇒ 長等神社
 ⇒ 琵琶湖疏水第1トンネル口 ⇒ 三井寺 ⇒ 京阪京津線路面軌道 ⇒ JR大津駅(解散)

0.6 → 2.0 → 0.7 → 1.5 → 0.4 → 0.2 → 0.3 → 1.3 → 0.8 (単位:km)

【見どころ】

- **小関越(こせき/こせき/おせき-こえ):**
大津市小関町から小関峠を越え、藤尾横木までの5km程の峠道。西国三十三所観音・14番札所三井寺から第15番札所の今熊観音寺に至る巡礼道としても、又京都から北陸へ向う近道として利用された
- **峠の地蔵(喜一堂/小関地蔵) 標高200m:**
歴史詳細は不明。1980年以前?道路拡張工事の際、放置されていた地蔵尊が見つかり現在地に祀られた。暮らし交通安全への信仰。



- **三井寺(園城寺):**
天台宗門宗の総本山寺院、本尊は弥勒菩薩。開基は686年大友与多王。日本三不動の一つで黄不動(金色不動明王)、秘仏として未公開。平安以降皇室・貴族・武士など信仰を集めて栄えたが、比叡山延暦寺との対立、豊臣秀吉による寺領没収など苦難を越え再興。三井寺の通称は寺に湧く霊泉が天智・天武・持統3代天皇の産湯に使われ「御井」の寺が由来。

- **長等神社(ながらじんじゃ):**
近江大津宮667年に遷都した際、長等山の岩座谷に建速須佐之男大神(たてはやすなのをのおおかみ)を祀ったのが始まり。860年園城寺の鎮守として山王権現を合わせて祀り新日吉社・新宮社とした。明治になり神仏分離の中で園城寺から独立し、明治16年名称を長等神社に改め、明治37年楼門が建立。
- **琵琶湖疏水:**
1885年(明治18年)に京都への飲料水・水運・発電を目的として工事が始まり、1890年(明治23年)に完成。大津三保ヶ崎から山科・蹴上を越え京都市内に入り、伏見・宇治川へと流れる。貴重な産業遺産を楽しむ、びわ湖疏水船が2018年春から運行。(料金8~2千円)



峠の地蔵尊



琵琶湖疏水第1トンネル口



三井寺仁王門(大門)

【次回第324回ご案内】

日時:2023年6月23日(第4金曜)
 コース:東山社寺を巡るウォーキング 距離:6.0km
 集合:京阪本線・七条駅(大阪方面) 午前10時

【次回下見会のご案内】

日時:2023年6月9日(第2金曜)
 コース:納涼 比叡山 距離:5.2km
 集合:叡山本線・八瀬比叡山口駅 午前10時